

株価データ自動取得のその後 【編集】[システムトレード]

株価データ自動取得において、立会日の日付データを予め準備しておく必要があります。これを、エクセルのワークシート上で、標準関数や機能のみを使って実現できないか、いろいろと検討を進めてきました。

しかし、残念ながら、有効な方法は見つかりません。連続した日付データを並べて、立会がない日を空白にする処理は、WEEKDAY関数などを使えば簡単にできます。難しいのは、その空白部分をどうやって埋めていくかでした。

所どころが空白になった日付データを見て、その空白部分を手で削除していくことなら簡単であることに気がきました。

そして、そのようにして作成した立会日の日付データを、株価データから参照させれば、擬似的な自動取得と成り得ることが分かりました。

そこで、共通の日付データを複数の株価データで参照するように仕様を変更し、「Kフロー株式トレード研究所」サイトのダウンロードページにアップデートしました。

とりあえず、株価データ自動取得については、これで一区切りにしたいと思います。興味のある方は、ダウンロードしてご利用ください。

なお、これはサンプルデータとなっていますが、先日のコラムでもご説明しましたように、クエリのリンク先を変更すれば、任意の銘柄のデータを自動取得できます。

また、50日以上過去のデータの取得方法につきましては、同サイトの連載コラムページに掲載している、「株価データ取得法あれこれ」等をご覧ください。

基本的には、最初に過去の株価データをご自身で用意し、そしてそれに、今回ご提供する自動取得機能を組み込みます。

その方法につきましては、9月12日のコラムをご参照願います。

日付データにつきましては、現時点で2008年末まで対応しています。ただし、一部の祝日や立会日などは変更になる可能性がないとも言えません。

日付データと実際の立会日とが食い違いますと、エラーの原因となりますのでご注意ください。もしも、食い違いが生じた場合には、ご自身で日付データの修正を行なってください。

以上、この1週間ほどは、株価データ自動取得に掛かりっきりになってしまいましたが、とりあえず、これで検討は終了します。

明日以降は、本来の作業やコラムの記述に戻る予定です。

KFシステムクリエイターのユーザーの方々には、システム等の度重なる更新や、システム解説の配信遅延をお詫びいたします。

システム解説(9)につきましては、来週前半までに行なうつもりです。

2007-09-19 18:26 nice!(0) コメント(0) トラックバック(0)
共通テーマ:株